

2017. 8. 17 修正

2017. 6. 17 修正

2015. 12. 12 福井

(敬称略)

## 新版・呑川は流れる 編集要領 (案)

発行責任者 高橋光夫代表 当面のまとめ 福井

構成 呑川ガイド編 (呑川ウォーク・ガイド) 総括 高橋光

本編 全体で A4 版 200 ページ程度

別添 新・呑川は流れる 目次 の通り

資料編 本編と一緒にまとめる

編集方針 高校生以上の区民が普通に読んで理解し、呑川に関心を持ち、好きになってもらえるような本

- ・教科書的にまとめ、最低の必要項目は記載し、記事にバランスをとる
- ・オール呑川の会で編集 担当分野以外にも積極的に参加  
ただしその採否の判断は各章の担当者、福井、高橋の順番で決める  
一方 大田区郷土博物館、六郷用水の会等 他の団体にも協力の要請  
はしがきに協力者名記載
- ・各章の担当者は 2 名以上が望ましい
- ・少なくとも原稿には出典・参考資料名を明記 ただし聞き書きも入れる  
聞き書きは 先方の氏名・住所・生れ年、 聞き取り者氏名 を記載
- ・深く掘り下げたものも入れる
- ・一方読み物的にコラムを設ける 例 呑川の川名の由来、道々橋の地名由来
- ・細かいデータは別冊「3. 資料編」にまとめるか
- ・読みやすい工夫
- ・文体 原則 文体はである調—論文調 ですます調とする
- ・電子版も作成するか? up to date なデータ等の追加訂正のために

タイトル 呑川は流れる 20XX その他

体裁 サイズ A4 版

製本単位 1. ガイド編 2. 本編+3. 資料編 2, 3は同一製本

原稿執筆ソフト 文章 WORD

表 EXCEL

本編の体裁

### 1 ページの体裁 (原則)

文字自体: MS 明朝 42 11 フォント スタイルは INDEX ホームのスタイル標準

(行数、文字数/行は自動的に設定されるが本文で 40 行とする。下欄にページをいれると 2 行分取られるので場合により行数の設定を 42 行にする必要の場合があります)

余白 「狭い」 上下左右とも 19 ミリ。上部ヘッダー「柱」に章タイトル 下にページ記入

読み仮名の入力方法: 単語の後に ( ) 内に半角カタカナ 例 甌 (コシ)

古語・専門用語等の意味のわかりにくいもので簡単に説明できるものはその言葉の直後に括弧に

9 フォントで記入 読み仮名がある場合はその後に記入

例 甌 (コシ 車輪の中央にある車軸を通す穴の部分)

また説明文が 1 行以上になる場合は脚注とする フォントは 9

写真・図表は原則 テキスト・ボックスに挿入し、写真・図表の下に 9 フォントでキャプション・タイトル記入

表紙、はしがき、目次、本文、地図、索引、資料

文章の段落は 章、節、項 とし、 章は 第1章 節は 1. 項は (1) とする

章の表示スタイルを ~~「2-1」~~、~~「2-2」~~、から第1章、第2章 する。

節を ~~「2-1-1」~~、~~「2-1-2」~~、章ごとに第1節、第2節とする

章は6行分のスペースにタイトル、イラスト等を入れる タイトルは14フォント

「柱(紙面上部の余白)」に章タイトルを入れる

保存ファイル 章単位?

ページ数 本編 200 ページ程度

カラーページは ガイド編写真 植物 イラスト 図表 本文中の写真は原則 黒白

用紙 上質 90kg 程度か

改ページの位置 章でする 節ではしない

地図の扱い 折込み可能サイズ A2 まで (それでも2万分の1の地図の大田区は入りきらない)

取り込む地図は? 著作権料の支払いの有無は? 課題は大きい

スケジュール 一次原稿 本年12月末完了、最終原稿、印刷 目標の完成時期 極力早く

~~本文中の細分は (1) (2) (3) a. b. c. ア. イ. ウ. の順による~~

項目の列挙の場合に数字は? ① ② ③ は使用しない

整理番号 「章」単位で図、表は通し番号

年号 西暦(元号)とする 例 2016(平成28)年

編集者・製本者 ?

編集ソフト 不要? 脚注、索引作成は word で可能

編集ソフト 例 InDesign, QuarkXpress

費用 印刷費用 本編・資料編 100万円~150万円

地図印刷費用?

総額 ガイド編の扱い?

助成金の申請先、締め切り時期+

大田区 地域力応援基金助成事業ステップアップ 29.6.12~29.7.14 テーマなし

// ジャンプアップ 28.9.1~28.9.30 テーマあり

とうきゅう環境財団 一般 限度100万円 03-3400-9142 鈴木氏

公募締め切り 28年1月15日

公益財団法人河川財団の河川基金 学術図書出版印刷費のみ限度100万円 03-5847-8301

9月募集要項発表 10月応募受付 11月応募締め切り 4月決定 翌3月事業完

印刷費用が100万円を大きく超える場合とうきゅう環境財団、河川基金は利用困難

その他検討内容

- ・原稿・ファイルの保管 原稿編集の便宜性から cloud も考えられるが **当面利用はしないと決定**
- ・編集ソフトは word 使用
- ・編集は工藤 各章の編集担当は完全には原稿を作成し、工藤さんは最終の全体チェックをページ数の記入に留めるようにする。 **担当者の word 等のバージョンの違いの調整作業があるので**
- ・本文は4版とするがコストを配慮して B5 版も考慮する。 印刷部数はさし当たり 1000 部とする
- ・本文は全ページカラー印刷
- ・執筆名は最後に一括記載
- ・地図は全呑川流域が入る地図を入れる
- ・出典図書・参考図書はすべて掲載する 必要により個々の内容に出典を明記

2017.6.17 編集会議 出席 工藤、首藤、高橋、白石、福井  
2017.8.12 編集会議  
2017.9.23 編集会議予定

以上